



主な内容

- ②……いきいき教室第2弾、アドバンスコープADSホールの催物
- ③～⑦……地域発信!ふるさと便 ⑦……ふるさとい〜な
- ⑧……犬の登録と狂犬病予防注射、施設見学会

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



原 康之さん (三重県伊賀保健所)
骨髄バンクについての説明や登録事務を行っている

白血球の型が一致する確率は、数百人から数万人に1人になります。1人でも多くの人の登録が必要です。

骨髄バンク登録

生きるチャンス善意で広げる

娘が血液製剤で命を助けられたのがドナー登録のきっかけでした。機会があれば再び提供したいですね。



萩田 匡嗣さん (希央台)
平成14年に骨髄バンクに登録。骨髄移植の経験を持つ

白 血病などにより日本で骨髄移植を必要とする人は、毎年2,000人以上になります。そのうち移植が行われる人は6割程度にとどまっています。骨髄移植は、ヒト白血球型抗原(HLA型)という白血球の型が一致しないと成功しません。一致する確率は、兄弟姉妹で4人に1人、それ以外では、数百人から数万人に1人になります。そのため、1人でも多くの命を救うには、1人でも多くのドナー登録が必要になります。

ドナー登録に要する時間は、説明と採血2mLなど約20分です。毎月第2木曜日(午前9時～正午)には、三重県伊賀保健所(伊賀市四十九町2802)で登録の受付を行っています(要事前予約/☎24-8080)。命のボランティア「骨髄バンク」にご協力ください。

ドナー登録ができる人

- ▼18歳以上54歳以下で健康な人
- ▼体重が男性45kg以上、女性40kg以上の人
- ▼担当者の説明を聞き、提供内容を十分理解した人

骨髄バンクに関する質問・問い合わせは…
骨髄移植推進財団/☎0120-445-445

市は、4月から、骨髄移植ドナーの負担軽減を図り、多くの骨髄移植の実現とドナー登録者の増加を図るため、「骨髄移植ドナー支援事業」を開始します。今号では、骨髄移植の経験を持つ萩田 匡嗣さんと、骨髄バンクドナー登録事務を行う三重県伊賀保健所の原康之さんに、お話を伺いました。
☎地域医療室 ☎63-3913

骨 髄バンクにドナー登録したのは、娘が血液製剤で命を助けられたのがきっかけでした。何か私も人のためにできることはないかと強く感じました。

登録しても1度も適合通知が届かない場合もありますが、私の白血球の型がよくある型なのか、9度ドナー候補者になり、前回初めてドナーに選ばれました。提供した相手とは、バンクを通じて2回だけ匿名で手紙のやりとりができるのですが、熱いお礼の手紙をいただき、こちらがお礼を言いたくなるくらいでした。

骨髄移植に不安はなかったのかとよく聞かれますが、連絡調整を行うコーディネーターから過去の健康被害例や補償制度など詳しく説明を受けることで、リスクは限りなく小さいと理解したので安心して手術を受けることができました。また、退院後も健康診断があったり、コーディネーターが健康状態を聞き取ってくれたり、ドナーに大変配慮されていると感じました。

自分が生きているうちに誰かの命を救えたと思うことは、1回有るか無いかと思えます。骨髄移植で「誰かの命を助けることができた」と考えるとすごくうれしく思います。機会があれば再び提供したいですね。

4月1日から「骨髄移植ドナー支援事業」が始まります

☎地域医療室 ☎63-3913



骨髄を提供するドナーは、検査費用や入院費はかかりませんが、仕事を休んでも休業補償がないことから、経済的な負担があります。

市では、助成金を交付することでドナーの負担軽減を図り、移植を待つ多くの人の命が救われるよう、4月1日から「骨髄移植ドナー支援事業」を開始します。

対象/助成金 ▼市内在住で、骨髄移植推進財団が実施する骨髄バンク事業で骨髄などを提供した人/骨髄などの提供のための通院・入院日数×2万円(上限14万円)

▼上記の人が勤務する市内の事業所/骨髄などの提供のための通院・入院日

数×1万円(上限7万円)

※通院・入院日数は、最終同意後の健康診断以降の通院・入院が対象

申請 骨髄移植推進財団が発行する骨髄などの提供が完了したことを証明する書類の写しを添えて、地域医療室(保健センター内/朝日町)で申請